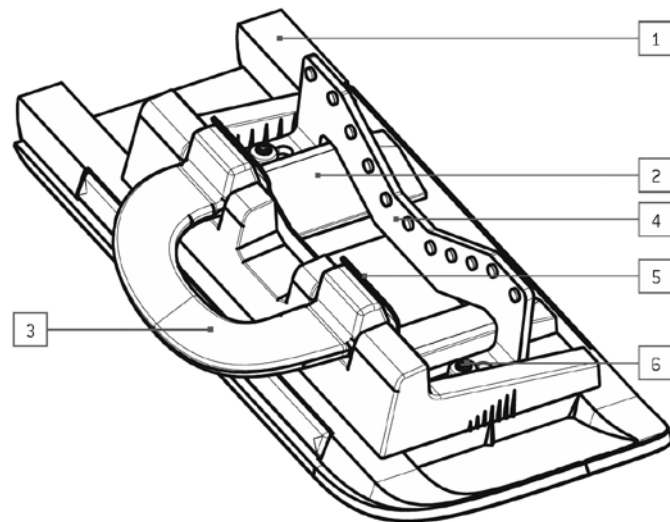
WHEEL BLADES

取扱説明書

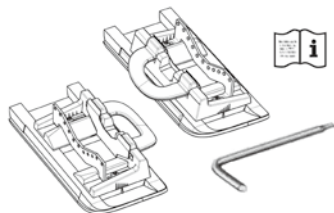
概要

(図は右側用のホイールブレードです。)

名称と材質

1 スキー	ポリアセタール（POM）
2 ベースプレート	ポリアセタール（POM）
3 クランプレバー	アルミ（ニッケル メッキ）
4 直角ゲージ	ステンレス
5 スプリングプレート	バネ鋼
6 調整用のボルト部	ステンレス

1 はじめに

1.1 梱包内容

ホイールブレード本体　左右
T25 トルクスレンチ　　1 本
マニュアル

1.2 保証

ホイールブレードは製品製造過程においてテストを行い、製品の品質は充分に考慮しておりますが、納品時に製品に破損、組立て間違いなどがあり、使用できない状態である場合、購入から 2 年間は製品の交換をさせていただきます。ただし、製造から 5 年を経過した製品に関しましては保証の対象となりません。また、すでに使用された製品もしくは以下の場合においてはこれに準じません。

・使用において破損した場合。
・取扱説明書に準じた正しい使用方法以外での使用や取り扱いによるダメージ。
・組立て間違いによる破損
・他のものとの衝突や落下などによる破損
・改造したもの

また上記の破損が原因の事故などに関しても保証はいたしかねます。

2 安全性について

2.1 使用目的

ホイールブレードは、砂利や砂などがなく、固まった雪上で移動をすることを目的として使用してください。氷上や深く積もった雪の中での使用には適しておりません。
また、スキーなどのスポーツに使用するものではありません。

・ホイールブレードは、自走式の電動ではなく手でこぐ（または押してもらう）車いすやバギーなどで使用してください。

・認知能力などの低下を感じられる方の一人でのご使用はおやめください。
（介助者が後ろから押すなどの方法で使用してください。）
また、使用される方はこのマニュアルをしっかりと読み、使用方法・目的などをしっかり、理解してください。

・ホイールブレードはキャスター径 80mm ～ 200mm および幅が 20mm ～ 60mm までの車いすなどに適応します。

・ホイールブレードは、スポーツなどの激しい動きの競技に対応できるようには作られておりません。あくまでも通常の移動を目的としてご使用ください。

・電動車いすでの使用はできません。

・簡易電動車いすに取付けて使用される場合は、必ず簡易電動車いすの電動駆動電源を切り、手動のみで動かすようにしてください。電動駆動によるホイールブレードの使用は絶対に行わないようにしてください。

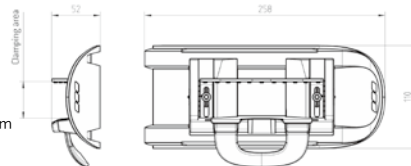
危険！
使用目的外の使用により、身体に重篤な危険をおよぼしたり、
死に至ることもありますのでご注意ください。

2.2 装着時について

ホイールブレードを車いすのキャスターに装着される際には、車いすの転倒などを避けるためにできるかぎり、介助者の補助を受けてください。

3 テクニカルデータ

3.1 重量とサイズ　図 1:

装着可能幅 :20mm ～ 60mm
装着可能キャスター径 :80mm ～ 200mm
重量：500g（1 ユニット）

3.2 適応気温

温度：－ 20℃～ 30℃

3.3 ラベル

すべてのホイールブレードには、シリアル番号とモデル型が記載されています。

図 2:

シリアル番号
モデル型

4 デザインと機能 : 装着図

4.1 クランプの構造

図 4: クランプ部分が開いた状態（装着前）　　クランプを閉じた状態（装着時）

5 構造

ホイールブレードは、原則として車いすなどの前キャスター部分に装着して使用します。キャスター径 80 ～ 200 ｍｍ、キャスター幅 20 ～ 60 ｍｍのキャスターに装着できるようにデザインされています。

5.1 装着前の設定

ホイールブレードをキャスターに装着する前に、お使いの車いすなどのキャスターに合わせ、下記の 2 つの調整をしてください。

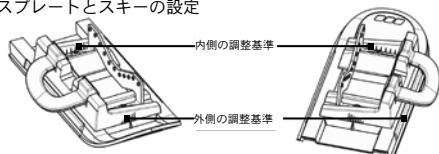
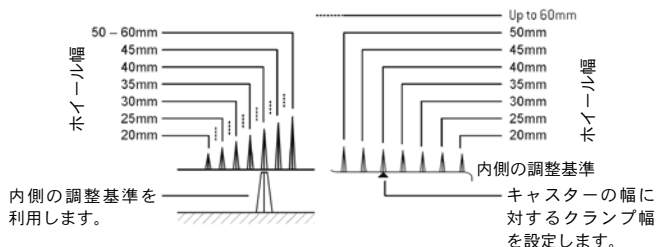
図 5: ベースプレートとスキーの設定

外側の調整基準を使用します。　スキー自体のセンターラインを設定します。

図 6: ベースプレートと直角ゲージの設定

1) ２つの調整用のボルトを緩めます。スキーとベースプレートが外れ、自由に動かすことができます。
2) 装着したいキャスターの幅を計測します。（例えば、31.5mm とします。）
3) 計測したキャスター幅に一番近い数値を出します。（例えば、調整基準の目盛りが 30mm と 35mm の間の 32.5mm が近似値と考えます。）
4) ベースプレートにスキーを合わせます。3) で近似値にした数値に近い部分（例えば近似値が 32.5mm の場合には 32mm 程度）を外側の調整基準で合わせます。
数値に関しては図 6 の調整基準表を参照してください。
5) スキーとベースプレートがまっすぐに取付けられていることを確認しながら取り付けてください。同様に内側の調整基準でも合わせてください。
6) 内側と外側の基準をあわせたら、調整ボルトをしっかりと締め付けてください。
7) 調整ができたら、一度キャスターを直角ゲージとスプリングプレートの間に設置し、クランプレバーを 90 度上げて留めてください。キャスターにホイールブレードがしっかりと留まっていることを確認してください。ガタツキがあったり、ホイールブレードが落下するようであれば再度調整を行ってください。調整ボルトを少し緩めると直角ゲージのみが動きますので少しだけ内側に動かし、再度しっかりとボルトを締め直してください。キャスターがしっかりと装着できるまでこの調整を繰り返し行い、しっかりと装着できる位置に合わせてください。

幅 32 mm の例

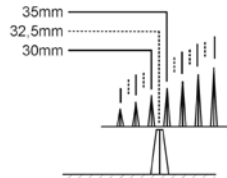



図 7: 外側の調整基準

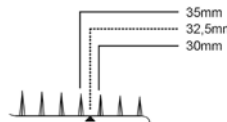
幅 32 mm の例

キャスター幅が 50mm を超える場合、ホイールとホイールブレードが非対称となりません。

図 8: 内側の調整基準

8) 片側の調整が完了したら、反対側のホイールブレードも同様に調整してください。

6 使用にあたって：着脱方法

危険！
落下に注意。プレートや装着部にキズなどがあるホイールブレードは使用中に外れることがあります。
→ 使用前に前回使用した際の傷などが無いかなどチェックとしてください。

注意！
指はさみに注意！ホイールブレードを装着する際、クランプ部分で指をはさみこまないように注意してください。
→ クランプを開閉する際にはキャスターとクランプの間に指を入れないでください。

6.1 装着方法

1) 装着前にホイールブレードの調整用のボルトがしっかりと締まっているか確認してください。緩みのある場合は必ず締め直してください。
2) ホイールブレード本体内に雪や砂などが入っていないか確認してください。
3) 右側用のホイールブレードを車いすの右側キャスター前に置いてください。この際、クランプレバーが開いていることを確認してください。また、スキーの前部分が進行方向に向くように置いてください。
4) 調整したホイールブレードの直角ゲージとスプリングプレートの間にキャスターを乗せるように入れてください。**この際、キャスターが旋回軸の後方にあるように（前進時の状態となるように）装着してください。**
5) キャスターがホイールブレード溝にしっかりとはまったことを確認した上でクランプレバーを９０度上に持ち上げてください。

図 9

図 10

図 11

6) ホイールブレードがキャスターにしっかり留まっていることを確認してください。
7) 左側も同様にして装着してください。

危険！
転倒に注意！
ホイールブレードを着脱する際、キャスターを持ち上げた時などに後方へ転倒するおそれがありますので、充分十分注意してください。
→転倒防止装置を使用もしくは、介助をお願いしてください。

危険！
ホイールブレードの基本設定が正しくされていない場合、使用中にボルトが緩んだりホイールブレードがキャスターから外れたりする場合がありますので予め正しい設定をしてください。

6.2 脱着方法

1) 車いすなどの駐車ブレーキをしっかりとかけてください。
2) ホイールブレードのクランプレバーを外側に開いてください。
3) キャスターをホイールブレードからはずしてください。

危険！
転倒に注意！
ホイールブレードを着脱する際、キャスターを持ち上げ時などに後方へ転倒するおそれがありますので、充分注意してください。
→転倒防止装置を使用するか、もしくは、介助をお願いしてください。

7 ホイールブレード装着時の操作方法

ホイールブレードを装着した車いすは自操だけでなく、介助者に押してもらって使用することもできます。ホイールブレードで雪上を走行される場合は通常の道を走行する感覚とは少し違います。そのため、装着後に、慣らしのための走行をされることをおすすめします。装着する車いすなどについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。ホイールブレードはあくまでも現在お使いの車いすやバギーなどの走行可能範囲を広げる目的で作られています。また、使用時は一般の道路法規を厳守してください。

危険！
転倒に注意！ホイールブレードとキャスターの間に異物などが入り込んだ場合、ホイールブレードが外れる危険があります。
→ 枝や小石など装着時に入り込まないように充分気をつけください。

危険！
転倒に注意！豪雪や踏み固められていない大雪の中では使用しないでください。
→走行中にそのような場所があった場合は避けて走行してください。

危険！
転倒に注意！走行表面の急な変化は、走行の抵抗の変化をもたらし、バランスを崩すなど転倒に繋がるおそれがあります。
→ところどころに積もった雪などの上での走行はおやめください。

危険！
氷上での使用は転倒に繋がりますのでおやめください。

7.1 キャスターを持ち上げることに関して
走行中に車いすのキャスターを持ち上げて移動することがありますが、特に後方に移動する場合には、ホイールブレードがホイールに引っかかる場合ことがあります。ホイールブレードの巻き込みなどが起こり、転倒もしくは事故につなげるおそれがありますので充分注意して移動してください。

危険！
転倒に注意！ ホイールブレードを装着し、キャスター上げでの移動する場合、ホイールブ レードが車いすのホイールに引っかかり転倒するおそれがあります。
→後方への移動の際はキャスターを上げずに移動してください。
その必要がある場合は介助者の手を借りて移動してください。

8 メンテナンス

使用後はホイールブレードキャスターから取外し、乾いた布などで汚れやごみなどを取ってください。

使用を繰返すことで、ホイールブレードのスキー部分が磨り減ってきます。その場合、スキー部のみを交換することができます。その際はボルトをはずし、スキーを取外して交換してください。

9 故障

ホイールブレードにキャスターが正しく装着されない場合､以下のことをお試しください。それでも使用できない場合、購入先へお問合わせください。

· ホイールブレードの本体の幅の調整を確認してください（第 5 項 参照）。
· パーツが正しくまっすぐに入っていることを再確認してください。
· ホイールブレードについている汚れやごみなどを取除いてください。

10 廃棄

ホイールブレードを廃棄をする際は、ボルトをはずし、プラスチック部分とメタル部分に別けてください。その後、地域のリサイクル、分別回収のルールに従い、プラスチックおよび金属として廃棄してください。

注意！
廃棄のためにパーツに別ける際、鋭利な部分などで手などを切らないように気をつけてください。

11 日本国内販売代理店

オットーボック・ジャパン株式会社
東京都港区芝浦 4-4-44　横河ビル 8 階　www.ms.ottobock.jp